

補 強 提 案 書

【耐震診断法の適用範囲について】

- ・本ソフトは、3階建てまでの在来軸組構法、伝統的構法、桝組壁工法の木造住宅、立面的な混構造（1階部分が鉄骨造または鉄筋コンクリート造）の建物の木造部分を想定して作成されています。
- ※耐震診断法は、比較的矩形な総2・3階建てを想定して作成されています。そのため、2階が二つに分かれている建物や、平面形状がコの字型など、著しく不整形な建物について、本プログラムで診断することは不適切です。
- ※下記の建物は適用範囲外です。

丸太組構法、旧38条認定および型式適合認定によるプレハブ工法住宅、平面的な混構造、スキップフロア
学校校舎、体育館、幼稚園舎などの大規模木造建築物

【本ソフトの適用範囲について】

- ・本ソフトでの耐震診断は、階高3.4m程度までの建物について適用して下さい。

【結果を読むに当たっての注意事項】

- ・本診断書における在来軸組構法・桝組壁工法診断時の「その他の耐震要素の耐力 Q_e 」は、有開口壁長より算出しています。
- ・N値計算の結果については日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の評価対象外であり、設計者が自身の責任において用いるものとなります。

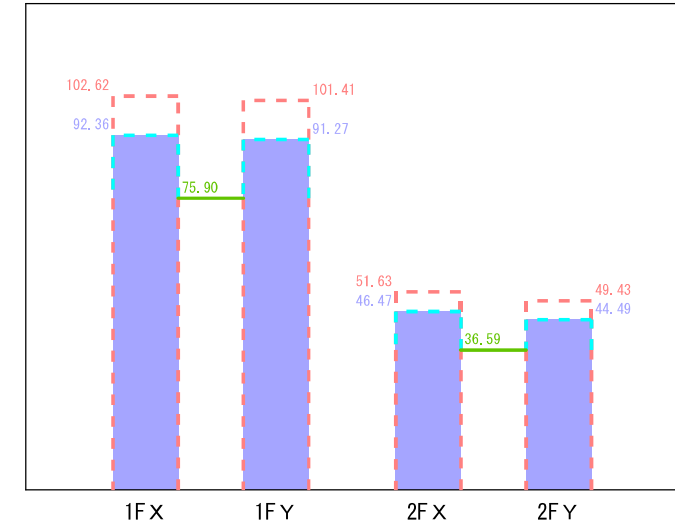
株式会社OSCAR J. J
富山市掛尾栄町1番地の1

総合評価

あなたの家の強さ（保有・必要耐力）

単位：k N

Qu 必要耐力 壁・柱の耐力 保有耐力



総合評価

上部構造評点のうち最低の値	評点	判定
1.20	1.5以上	◎ 倒壊しない
	1.0以上～1.5未満	○ 一応倒壊しない
	0.7以上～1.0未満	△ 倒壊する可能性がある
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い

無積雪時の評点	2.08	>	積雪時の評点	1.20
---------	------	---	--------	------

◆建物概要

建物名称		建物階数	2
建築地		診断の方法	方法1
備考		低減係数E	偏心率
構法	在来軸組構法	軟弱地盤割増係数	1.0
1階構造種別	木造	竣工年月	1986年12月(昭和61年)
外壁材種	仕上げなし	築年数	築10年以上
基礎仕様	鉄筋コンクリート	建物重量	軽い
柱頭柱脚接合部	I 平12建告1460号に適合する仕様	混構造割増係数	1.0
下屋部低減係数	平屋建てもしくは最上階として計算する	積雪	1.5
必要耐力計算表	精算法(各階の床面積比を考慮した方法)	地域係数Z	1.0
床仕様	I 合板(想定床倍率1.0以上)	形状割増	2階 6m以上
床面積	2階 46.38㎡ (14.02坪)	短辺の長さ	1階 4m以上6m未満
	1階 82.39㎡ (24.92坪)		

■上部構造の評価

階	方向	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置 eKfl	劣化度 dK	保有耐力 (kN) edQu=Qu・eKfl・dK	必要耐力 Qr (kN)	評点 edQu/Qr	判定
2F	X	51.63	1.0000	0.9000	46.47	36.59	1.27	一応倒壊しない
	Y	49.43	1.0000	0.9000	44.49	36.59	1.21	一応倒壊しない
1F	X	102.62	1.0000	0.9000	92.36	75.90	1.21	一応倒壊しない
	Y	101.41	1.0000	0.9000	91.27	75.90	1.20	一応倒壊しない

注意事項：地盤・基礎

地盤・地形・基礎	対策	注意事項
地盤：よい・普通		特に問題はありません。
地形：平坦		特に問題はありません。
基礎：鉄筋コンクリート	健全	特に問題はありません。

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時

物件コード：0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

地盤・基礎

地盤	対策	記入欄	注意事項
よい/普通		○	特に問題はありません。
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

地形	対策	記入欄	注意事項
平坦・普通		○	特に問題はありません。
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積		
	特別な対策を行っていない		

基礎形式		記入欄	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全	○	特に問題はありません。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	軽微なひび割れが生じている		
	ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固め・底盤		
	足固めなし		
その他 (ブロック基礎等)			

株式会社OSCAR J. J

様邸

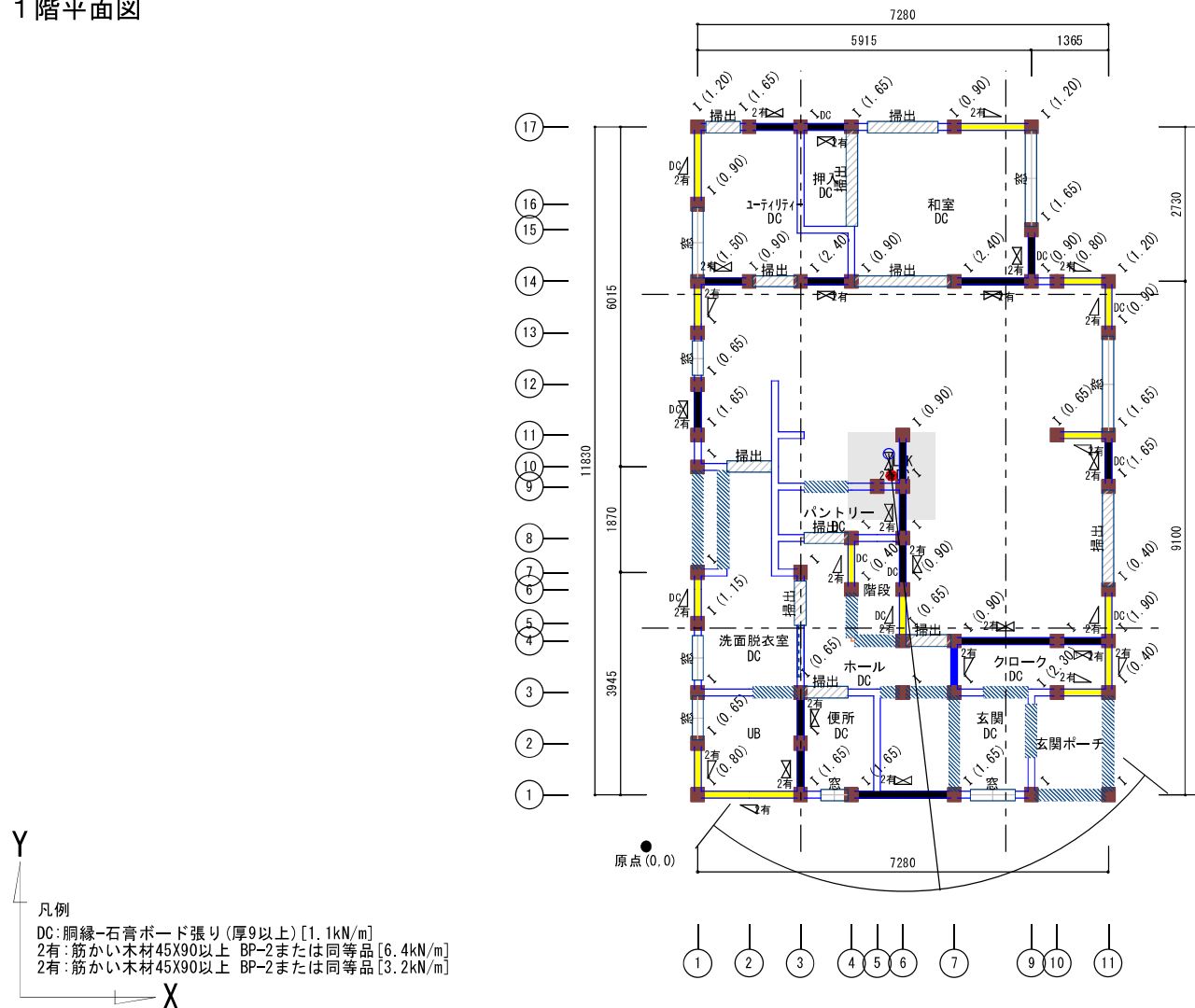
診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

1 階平面図



株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

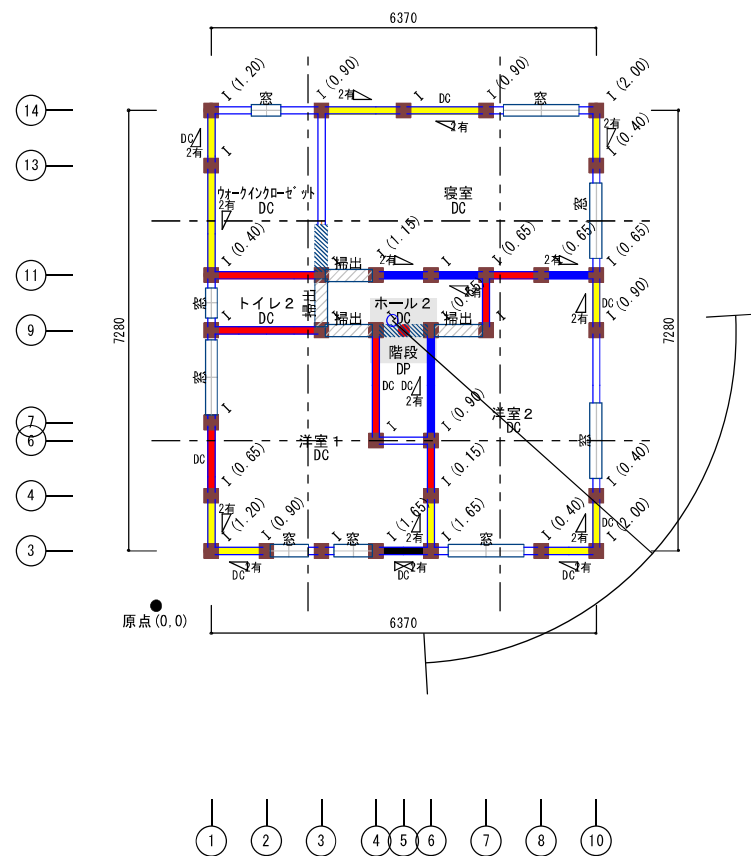
補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。

本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

N値計算の結果については日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の評価対象外であり、設計者が自身の責任において用いるものとなります。

2 階平面図



凡例

DC: 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) [1.1kN/m]
2有: 筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 [6.4kN/m]
2有: 筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 [3.2kN/m]

壁基準耐力 (kN/m)

赤 3.0未満

黄 3.0~5.0未満

青 5.0~7.0未満

黒 7.0~

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード：0001

補強案 1 0.13→1.20

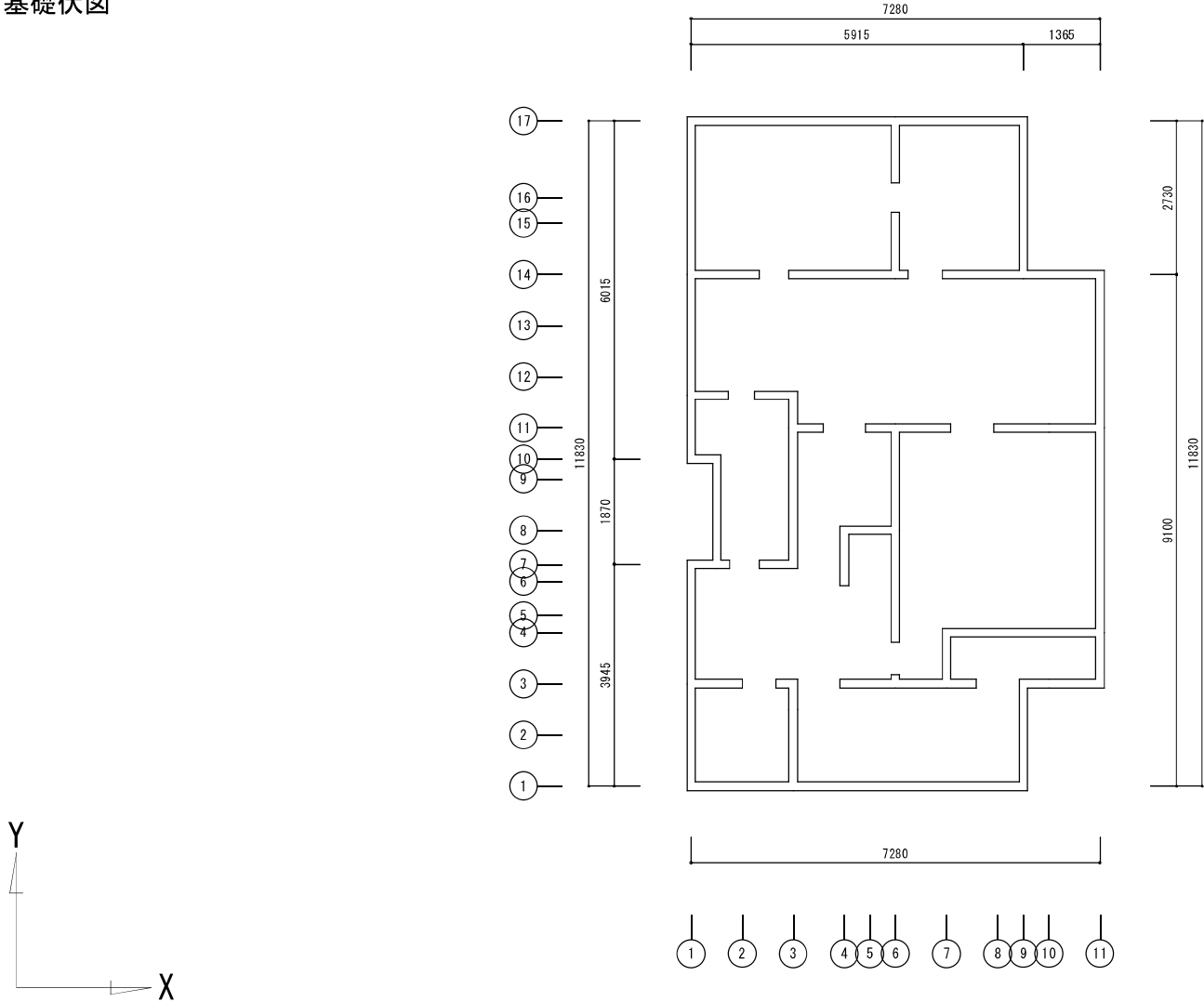
本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。

本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

N値計算の結果については日本建築防災協会の「木造住宅耐震診断プログラム評価」の評価対象外であり、設計者が自身の責任において用いるものとなります。

一般財団法人 日本建築防災協会 木耐博士N P評価13-改1-W

基礎伏図



株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

必要耐力の算出 [軽い建物]

	床面積 (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (kN/㎡)		積雪用 必要耐力 (kN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Q _r (kN)
2 階	46.38	×	0.3989	+	0.3900	)	1.0	×	1.0	×	1.00	×	1.0	=	36.59
1 階	82.39		0.5312		0.3900						1.00				75.90

床面積当たりの必要耐力算出根拠

Rf1=2 階床面積/1 階床面積=0.5629

QKf12=1.3+0.07/Rf1=1.4244

QKf11=0.4+0.6*Rf1=0.7377

2 階建の 2 階=0.28*QKf12=0.3988

2 階建の 1 階=0.72*QKf11=0.5311

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (2階X方向)

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 F_w (kN/m)		接合部 耐力低減 K_j		壁長 L (m)		Q_{wi}	Q_w $= \sum Q_{wi}$	Q_{ei}	Q_e $= \sum Q_{ei}$	Q_u Q_w+Q_e
桁行 (a)	14	3- 5	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	1.3650	=	5.86	11.72		0.00	11.72
	14	5- 7	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	1.3650	=	5.86				
桁行 (中央)	9	1- 3	DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	1.8200	=	4.00	24.73			
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	1.8200	=	4.00				
	11	1- 3	DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	1.8200	=	4.00				
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	1.8200	=	4.00				
	11	4- 6	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	5.40	x	① 1.0000	x	0.9100	=	4.91				
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	5.40	x	① 1.0000	x	0.9100	=	4.91				
	11	6- 7	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	5.40	x	① 1.0000	x	0.9100	=	4.91				
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	5.40	x	① 1.0000	x	0.9100	=	4.91				
	11	7- 8	DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	0.9100	=	2.00				
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	0.9100	=	2.00				
	11	8-10	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	5.40	x	① 1.0000	x	0.9100	=	4.91	24.73			
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	5.40	x	① 1.0000	x	0.9100	=	4.91				
	9	3- 4		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=					
	11	3- 4		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=			0.27	0.54	25.27
														0.27		
桁行 (b)	3	1- 2	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91	14.64		0.00	14.64
	3	4- 6	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	6.40 1.10	7.50	x	① 1.0000	x	0.9100	=	6.82				
	3	8-10	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91				
合計													51.09		0.54	51.63

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (2階Y方向)

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部 耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
梁間 (イ)	1	3- 4	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91	16.97		0.00	16.97
	1	4- 7	DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	1.10	x	① 1.0000	x	1.2150	=	1.33				
	1	11-13	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	1.8200	=	7.82				
	1	13-14	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91				
梁間 (中央)	4	6- 9	DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	1.8200	=	4.00	20.73		0.00	20.73
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10											
	6	3- 4	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91				
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	1.10	x	① 1.0000	x	0.9100	=	1.00				
	6	6- 9	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	5.40	x	① 1.0000	x	1.8200	=	9.82				
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10											
	7	9-11	DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10	2.20	x	① 1.0000	x	0.9100	=	2.00				
			DC	胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	1.10											
梁間 (ロ)	10	3- 4	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91	11.73		0.00	11.73
	10	9-11	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91				
	10	13-14	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り (厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	① 1.0000	x	0.9100	=	3.91				
合計													49.43		0.00	49.43

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード：0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (1階X方向)

位置	Y	X	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部 耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw =Σ Qwi	Qei	Qe =Σ Qei	Qu Qw+Qe
桁行 (a)	14	1- 2	2有 DC DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10 1.10	8.60	x	② 1.0000	x	0.9100	=	7.82	50.78			
	14	3- 4	2有 DC DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10 1.10	8.60	x	② 1.0000	x	0.9100	=	7.82				
	14	7- 9	2有 DC DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10 1.10	8.60	x	② 1.0000	x	1.3650	=	11.73				
	14	10-11	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	3.91				
	17	2- 3	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	6.82				
	17	3- 4	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	6.82				
	17	7- 9	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	③ 1.0000	x	1.3650	=	5.86				
	14	2- 3		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=					
	14	4- 7		掃き出し型開口		0.30	x		x	1.8200	=		0.54	0.81	51.59	
桁行 (中央)	11	10-11	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	3.91	3.91			0.00
																3.91
桁行 (b)	1	1- 3	2有	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品	3.20	3.20	x	③ 1.0000	x	1.8200	=	5.82	46.85			
	1	4- 7	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	x	③ 1.0000	x	1.8200	=	13.65				
	3	10-11	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	3.91				
	4	7-10	2有 DC DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10 1.10	8.60	x	② 1.0000	x	1.8200	=	15.65				
	4	10-11	2有 DC DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10 1.10	8.60	x	③ 1.0000	x	0.9100	=	7.82				
	4	6- 7		掃き出し型開口		0.30	x		x	0.9100	=		0.27	0.27	47.12	
合計												101.54			1.08	102.62

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (1階Y方向)

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 Fw (kN/m)		接合部 耐力低減 Kj		壁長 L (m)		Qwi	Qw = $\sum Qwi$	Qei	Qe = $\sum Qei$	Qu Qw+Qe
梁間 (イ)	1	1-2	2有	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品	3.20	3.20	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	2.91	37.05			
	1	5-7	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	② 1.0000	×	0.9100	=	3.91				
	1	11-12	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	×	② 1.0000	×	0.9100	=	6.82				
	1	13-14	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	② 1.0000	×	0.9100	=	3.91				
	1	16-17	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	③ 1.0000	×	1.3650	=	5.86				
	3	1-2	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	6.82				
	3	2-3	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	6.82				
	1	2-5		窓型開口		0.60	×		×	2.1250	=			1.27		
	1	14-16		窓型開口		0.60	×		×	1.3650	=			0.81	2.08	39.13
梁間 (中央)	4	6-8	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	② 1.0000	×	0.9100	=	3.91	34.19			
	6	4-6	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	② 1.0000	×	0.9100	=	3.91				
	6	6-8	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	×	② 1.0000	×	0.9100	=	6.82				
	6	8-9	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	×	② 1.0000	×	0.9100	=	6.82				
	6	9-11	2有 DC DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10 1.10	8.60	×	② 1.0000	×	0.9100	=	7.82				
	7	3-4	2有 DC DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上) 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10 1.10	5.40	×	② 1.0000	×	0.9100	=	4.91			0.00	34.19

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

壁・柱の耐力 Q_u (1階Y方向)

位置	X	Y	記号	壁の仕様	仕様別 基準耐力	壁基準耐力 F _w (kN/m)		接合部 耐力低減 K _j		壁長 L (m)		Q _{wi}	Q _w = Σ Q _{wi}	Q _{ei}	Q _e = Σ Q _{ei}	Q _u Q _w +Q _e
梁間 (口)	9	14-15	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	6.82	25.37			28.09
	11	3- 4	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	3.91				
	11	4- 6	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	3.91				
	11	9-11	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	6.40 1.10	7.50	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	6.82				
	11	13-14	2有 DC	筋かい木材45X90以上 BP-2または同等品 胴縁-石膏ボード張り(厚9以上)	3.20 1.10	4.30	×	③ 1.0000	×	0.9100	=	3.91				
	9	15-17		窓型開口		0.60	×		×	1.8200	=			1.09		
	11	6- 9		掃き出し型開口		0.30	×		×	1.8200	=			0.54		
	11	11-13		窓型開口		0.60	×		×	1.8200	=			1.09	2.72	28.09
合計													96.61		4.80	101.41

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

耐力要素の配置等による低減係数 e_{kf}

偏心率

		偏心率	配置による低減係数
2 F	X方向	0.05	1.0000
	Y方向	0.05	1.0000
1 F	X方向	0.08	1.0000
	Y方向	0.01	1.0000

		2 階		1 階	
		X方向の壁	Y方向の壁	X方向の壁	Y方向の壁
剛心座標	y_s, x_s	4.72	3.91	6.95	4.30
重心座標	y_g, x_g	4.55	4.10	6.56	4.35
偏心距離	e_y, e_x	0.17	0.18	0.39	0.04
弾力半径	$r_{e \cdot x}, r_{e \cdot y}$	3.58	3.66	5.12	5.15
偏心率	$R_{e \cdot x}, R_{e \cdot y}$	0.05	0.05	0.08	0.01

2階床面積の計算

ブロックNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ブロック面積 (A_i) (m^2)	床面積当たりの重量 (W_i) (kN/m^2)	面積X単位重量 ($A_i \cdot W_i$) (kN)	$A_i \cdot X_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot X_i \cdot W_i$	$A_i \cdot Y_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot Y_i \cdot W_i$
1	0.91	0.91	7.28	8.19	46.37	1.43	66.31	189.89	271.54	210.98	301.70
合計					46.37		66.31	189.89	271.54	210.98	301.70

1階床面積の計算

ブロックNo.	左下X (m)	左下Y (m)	右上X (m)	右上Y (m)	ブロック面積 (A_i) (m^2)	床面積当たりの重量 (W_i) (kN/m^2)	面積X単位重量 ($A_i \cdot W_i$) (kN)	$A_i \cdot X_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot X_i \cdot W_i$	$A_i \cdot Y_i$ ($kN \cdot m$)	$A_i \cdot Y_i \cdot W_i$
1	0.91	0.91	6.83	2.73	10.77	1.43	15.40	41.68	59.60	19.60	28.03
2	0.91	2.73	6.83	10.01	43.10	2.15	92.67	166.80	358.62	274.55	590.28
3	0.91	10.01	6.83	12.74	16.16	1.43	23.11	62.54	89.43	183.82	262.86
4	6.83	2.73	7.28	10.01	3.28	2.15	7.05	23.14	49.75	20.89	44.91
5	7.28	2.73	8.19	10.01	6.62	1.43	9.47	51.21	73.23	42.17	60.30
6	6.83	0.91	7.28	2.73	0.82	1.43	1.17	5.79	8.28	1.49	2.13
7	7.28	0.91	8.19	2.73	1.66	1.43	2.37	12.84	18.36	3.02	4.32
合計					82.41		151.24	364.00	657.27	545.54	992.83

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時

物件コード：0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

重心位置の計算

階	床面積 (m ²)	$\Sigma A_i \cdot x_i$	$\Sigma W \cdot x$	ΣW (kN)	重心座標 x_g (m)	$\Sigma A_i \cdot y_i$	$\Sigma W \cdot y$	ΣW (kN)	重心座標 y_g (m)
2	46.37	189.89	271.54	66.31	4.10	210.98	301.70	66.31	4.55
1	82.41	364.00	657.27	151.24	4.35	545.54	992.83	151.24	6.56

2階X方向壁

	Y座標 (m)	l_x	$l_x \cdot y$	$l_x X$ $(y-y_s)^2$
1	8.19	5.87	48.08	70.87
2	8.19	5.87	48.08	70.87
3	5.46	4.00	21.84	2.22
4	5.46	4.91	26.81	2.72
5	5.46	4.91	26.81	2.72
6	5.46	2.00	10.92	1.11
7	5.46	4.91	26.81	2.72
8	5.46	0.27	1.47	0.15
9	4.55	4.00	18.20	0.11
10	4.55	0.27	1.23	0.01
11	0.91	6.83	6.22	98.90
12	0.91	3.91	3.56	56.62
13	0.91	3.91	3.56	56.62
合計	60.97	51.66	243.59	365.64

2階Y方向壁

	X座標 (m)	l_y	$l_y \cdot x$	$l_y X$ $(x-x_s)^2$
1	7.28	3.91	28.46	44.40
2	7.28	3.91	28.46	44.40
3	7.28	3.91	28.46	44.40
4	5.46	2.00	10.92	4.80
5	4.55	9.83	44.73	4.02
6	4.55	1.00	4.55	0.41
7	4.55	3.91	17.79	1.60
8	3.64	4.00	14.56	0.29
9	0.91	7.83	7.13	70.48

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

2階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly・x	lyX (x-xs) ²
10	0.91	3.91	3.56	35.20
11	0.91	1.34	1.22	12.06
12	0.91	3.91	3.56	35.20
合計	48.23	49.46	193.40	297.26

1階X方向壁

	Y座標 (m)	lx	lx・y	lxX (y-ys) ²
1	12.74	5.87	74.78	196.81
2	12.74	6.83	87.01	229.00
3	12.74	6.83	87.01	229.00
4	10.01	11.74	117.52	109.95
5	10.01	3.91	39.14	36.62
6	10.01	7.83	78.38	73.33
7	10.01	7.83	78.38	73.33
8	10.01	0.27	2.70	2.53
9	10.01	0.55	5.51	5.15
10	7.28	3.91	28.46	0.43
11	3.64	7.83	28.50	85.77
12	3.64	15.65	56.97	171.43
13	3.64	0.27	0.98	2.96
14	2.73	3.91	10.67	69.62
15	0.91	5.82	5.30	212.30
16	0.91	13.65	12.42	497.92
合計	121.03	102.70	713.73	1996.14

1階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly・x	lyX (x-xs) ²
1	8.19	3.91	32.02	59.14
2	8.19	3.91	32.02	59.14
3	8.19	6.83	55.94	103.30
4	8.19	3.91	32.02	59.14
5	8.19	0.55	4.50	8.32

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

1階Y方向壁

	X座標 (m)	ly	ly・x	lyX $(x-x_s)^2$
6	8.19	1.09	8.93	16.49
7	6.83	6.83	46.65	43.68
8	6.83	1.09	7.44	6.97
9	5.46	4.91	26.81	6.60
10	4.55	3.91	17.79	0.24
11	4.55	6.83	31.08	0.42
12	4.55	7.83	35.63	0.49
13	4.55	6.83	31.08	0.42
14	3.64	3.91	14.23	1.71
15	2.73	6.83	18.65	16.86
16	2.73	6.83	18.65	16.86
17	0.91	6.83	6.22	78.54
18	0.91	3.91	3.56	44.96
19	0.91	2.91	2.65	33.46
20	0.91	5.87	5.34	67.50
21	0.91	3.91	3.56	44.96
22	0.91	0.82	0.75	9.43
23	0.91	1.28	1.16	14.72
合計	101.93	101.53	436.68	693.32

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時:

物件コード: 0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
 本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

劣化度による低減係数 d K

部位		材料、部材等	劣化事象	存在点数		劣化点数
				10年未満	10年以上	
屋根	葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	②	2
		瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある			
樋		樋・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	2
		縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	2
外壁 仕上げ		木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	④	4
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある			
		モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある			
露出した躯体			水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	2
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	1	1	1
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある			
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある	1	1	1
		外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある			
		床排水	壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	1	1
内壁	一般室	内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	②	2
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	②	2
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある			
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	②	2
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	①	1
	床下		基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	2
合 計				0	21	0

劣化度による低減係数 d K	1－(劣化点数/存在点数)＝	0.9000
----------------	----------------	--------

- ・補修後の診断における劣化低減係数の上限は0.9（現状が0.9を上回る場合は、その値）となります。

株式会社OSCAR J. J

様邸

診断書作成日時：

物件コード：0001

補強案 1 0.13→1.20

本書は、一般財団法人 日本建築防災協会発行の「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。